

<事業所> 2020年度 神山さつきの森 自己評価表

実施 2021.1.20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		広さは十分とは言えませんがパーティションで区切るなどして個別スペースを確保しています。絆棟、農園、敷地内広場等を活用し、十分なスペースの確保に努めています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			基準を上回る職員を配置し、個別のニーズにこたえられるようマンツーマンに近い対応をしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子での移動が可能なように最低限の配慮はできていますが、施設内が手狭なため、重いですが移動可能とはいえません。今後バリアフリーが必要な児童生徒がいた場合には改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所が目指す「地域の中で共に生きる」ことができる人になるように常に念頭におき、毎日の支援についてサービス提供後に振り返りを行う、月1回の職員ミーティングのなかでケース検討を行う等しています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			2021年1月に保護者にアンケート調査を実施し、ほぼ全ての方から回答を頂き、それを踏まえて事業者評価を行いました。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人HPに掲載しています。また、保護者に対してはお便りでお伝えしています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	これまで第三者評価を受けたことはありません。今年度県社協に依頼をしましたが、コロナの影響で今年度は実施していただけませんでした。今後、継続して受審依頼をしていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			アドバイザーを含めた毎月のケース検討が実践的な研修の場になっています。法人の（発達障害者支援センターアスタ）研修会（全4回）に参加し、障害児の理解、支援スキルの向上をはかっています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援事業所とも連携をして個別支援計画を作成しています。子どもの成長や状況の変化に伴い変化するニーズを的確に把握できるよう工夫していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、アセスメントが支援の基本であることを意識し、日々支援をしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			前月会議で予定を具体化し、その後プログラムを支援担当者で立案し共有しています。子供達の状態により、変更になることも多いので、いくつかの活動の選択肢を用意しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日行う個別課題は、習得に合わせて変化させています。農作業体験、創作活動では季節的な要素も取り込み、様々な体験ができるように工夫しています。ほぼ全ての子どもが外出をし、体を動かす活動を取り入れています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	休日や長期休暇は支援時間を長く確保できるため、個別課題の時間と、商業施設や公園などへの外出をして体を動かす時間を必ず入れています。個別対応が必要な場合は、スタッフとマンツーマンで出かけるなど、個々に応じた活動や支援を丁寧に行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			興味関心に応じて個別活動を行うと共に、全体活動では子ども同士の交流が図れるように計画しています。実際は、人と一緒に活動できる利用児童生徒は少ないので、今後さらに工夫をし、改善に努めます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、打合せを行い、前日までの情報の共有と、当日の支援内容の確認、役割分担を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、毎日振り返りの時間をもっています。情報を共有し、支援の改善に取り組んでいます。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用日ごとに支援内容と児童の状況を用紙に記録するとともに、月に1回のミーティングの中で検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングの標準期間だけでなく、児童の状況の変化や保護者の意向なども踏まえて計画の見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		設定したプログラムの中では交流や創作的な活動を行い、生活場面では日常生活支援を行います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			現在は児童発達支援管理責任者のみが参加していましたが、今後は可能な限り、児童発達支援管理責任者と支援担当者の複数で参画します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			特別支援学校の行事予定をメールでいただき、学校へのお迎え時に先生から状況を聞く、連絡会への参加、電話での情報確認などをおこなっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的なケアを必要とする児童の利用はありませんが、発作があるなど医療的な配慮が必要な児童については保護者と連絡方法や対応方法を確認しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			これまでそのような機会はありますが、必要に応じて保護者の意向も確認して取り組んでいきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高等部卒業後、障害福祉サービス事業所より情報を求められた際は、保護者の了解を得た上で、支援内容の情報をお伝えしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達障害者支援センター東部（アスタ）の法人内研修を受けています。今後必要に応じ、助言をお願いしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		交流機会はありません。交流することが過度な刺激となり、プラスの経験にならない子どももいるので、今後、個々の状況に応じて検討改善していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		昨年度は御殿場・小山自立支援協議会こども部会の事業所連絡会に参加し、情報共有や支援の向上に向けた話し合いに参加していました。今年度はコロナの影響で協議会主催のオンライン研修のみ参加しました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の様子は連絡ノートを活用すると共に送迎の際にも口頭で伝えています。課題や問題については個別に面談するなどして対応しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援の中で気づいたことを保護者と共有したり、保護者の困りごとに具体的なアドバイスを行って、家庭で実践できることをたくさんお伝えするようにしています。	
保護者との説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定の変更があった場合には、保護者向けにお手紙を配布しています。支援内容については通信や広報誌でお伝えしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談は個別に面談時間を設定するなどして相談に応じています。29の回答の通り。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			特別支援学校の保護者を対象とした交流会を開催しました。今後、対象をある程度絞りながら、複数回開催し、全ての保護者の方に参加していただけるようにしていきます。日ごろの悩みや高校卒業後の進路・生活等、保護者が思いを共有し、情報が得られ、悩みが解消されるような横のつながりができる場所を作っていけるよう努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの苦情や要望がしやくすくするために広報活動や意見箱を設置するなどしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者向け通信、法人広報誌を発行しています。今後、次月の行事予定、活動予定なども周知するようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護については、書類管理を徹底してその保持に努めています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報は具体的、視覚的に伝えることを意識しています。今後より一層意思疎通がはかれるよう、改善努力していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		○	今年度はコロナの影響で、法人主催の「さつきまつり」に地域の方に参加して頂くことができませんでした。来年度は、地域の方にも参加して頂き、事業所の取り組みを知って頂きたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員間では周知していますが、保護者への周知が十分とはいえません。今後明文化したものを保護者に配布して周知を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回の防災訓練を実施しています。平日は月曜日～金曜日まで実施しましたが、土曜日に実施したことが無かったので、今後全ての曜日で実施するようにします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内で虐待防止セルフチェックシートを使って、自己チェックを定期的に行い、虐待防止に努めています。また、職員の正しい障害理解のために、法人内で開催している発達障害者支援センター（アスタ）の研修（自閉症の人への理解と対応）に参加しています。今後も継続して研修を受講します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、該当する児童生徒はいません。今後必要がある児童生徒が利用する場合には、相談支援事業所とも連携し、保護者とも十分に相談して合意のうえで行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		卵アレルギーがある児童が1名利用しています。保護者を通じて情報を得て適切に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの記録を残し、事業所内で回覧、スタッフミーティングにおいて再発防止、事故防止について確認しています。